

令和3年度 上下水道局
事業会計決算説明資料

水道事業会計
工業用水道事業会計
公共下水道事業会計
農業集落排水事業会計

令和3年度 企業会計決算のすがた（対前年度比較）

1 局事業費全体（消費税込）

（単位：百万円）

区 分	令和2年度	令和3年度	増 減
収益的支出	18,838	18,305	△ 533
資本的支出	16,231	16,536	305
支出総額	35,069	34,841	△ 228

2 事業別収支（消費税込）

（単位：百万円）

区 分	令和2年度	令和3年度	増 減		
水道事業	収益的収支	収 入	7,980	8,543	563
		支 出	7,798	7,307	△ 491
		差 引	182	1,236	1,054
	資本的収支	収 入	1,747	2,200	453
		支 出	5,647	6,299	652
		差 引	△ 3,900 ※1	△ 4,099 ※1	△ 199
工業用水道事業	収益的収支	収 入	18	21	3
		支 出	14	15	1
		差 引	4	6	2
	資本的収支	収 入	4	0	△ 4
		支 出	27	6	△ 21
		差 引	△ 23 ※1	△ 6 ※1	17
公共下水道事業	収益的収支	収 入	10,735	10,485	△ 250
		支 出	10,392	10,391	△ 1
		差 引	343	94	△ 249
	資本的収支	収 入	6,064	5,819	△ 245
		支 出	10,144	9,800	△ 344
		差 引	△ 4,080 ※1	△ 3,981 ※1	99
農業集落排水事業	収益的収支	収 入	659	621	△ 38
		支 出	635	593	△ 42
		差 引	24	28	4
	資本的収支	収 入	206	215	9
		支 出	413	431	18
		差 引	△ 207 ※1	△ 216 ※1	△ 9

※1 については、損益勘定留保資金等で補てん

※当該資料「百万円単位」、決算書「円単位」表記のため、端数処理の関係で一部において一致しないことがある。

水道事業

ポイント

- ①令和3年度は増収及び費用の減により、単年度収支差額で877百万円の純利益を計上した。
 ②有収水量については、コロナ禍の影響が生じた令和2年度を除き、減少傾向となっている。

1 収益的収支（3条収支）

（単位：百万円：税抜）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
水道事業収益	7,293	7,802	509	7.0
水道事業費用	7,414	6,925	△ 489	△ 6.6
収支差額	△ 121	877	998	—

【収益】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業収益	551	給水収益（530）、受託工事収益（30）の増 その他営業収益（9）の減
営業外収益等	△ 42	給水負担金（13）、雑収益（4）の増 他会計繰入金（5）、長期前受金戻入（20）、特別利益（34）の減

（参考）給水収益及び有収水量の推移

（単位：百万円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給水収益	7,205	7,104	7,055	6,451	6,981
前年度増減額	581	△ 101	△ 49	△ 604	530
有収水量（千m ³ ）	44,103	43,499	43,229	43,441	43,062
前年度増減量(千m ³)	△ 196	△ 604	△ 270	212	△ 379

※平成28年10月使用分より料金改定（平均改定率20%）

【費用】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業費用	149	原水・浄水費（108）、配水・給水費（95）、受託工事費（31） 業務費（7）、資産減耗費（52）の増 総係費（22）、減価償却費（122）の減
営業外費用等	△ 638	支払利息（45）、特別損失（593）の減

2 資本的収支（4条収支）

（単位：百万円：税込）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
資本的収入	1,747	2,200	453	25.9
資本的支出	5,647	6,299	652	11.5
収支差額	△ 3,900	△ 4,099	△ 199	5.1

【収入】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
建設改良等企業債	426	建設改良企業債の増
出資金	60	一般会計出資金の増（水道管路耐震化事業出資金、簡水統合分の増）
県補助金	△ 55	生活基盤施設耐震化等補助金の減
負担金等	30	負担金工事の増加に伴う増（35）、消火栓設置工事負担金の減（5）
固定資産売却代金	△ 8	未利用地売却実績による減

【支出】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
建設改良費	537	配水管布設及び施設整備工事増加に伴う建設改良費の増
企業債償還金	115	企業債償還金の増

3 建設改良事業の概要

(単位：百万円：税込)

事業名	事業費	主な事業
旧宮崎市域	3,358	
1. 配水管等布設工事	1,430	幹線管路耐震化事業祇園工区配水管布設替工事(但し小松川推進工) 幹線管路耐震化事業生目台工区配水管布設替工事(但し県道推進工) ほか
2. 施設整備工事	1,928	取水施設、浄水施設 下北方浄水場新系浄水施設整備事業 下北方浄水場新系浄水施設中央監視機能増設工事 富吉浄水場2系急速ろ過池耐震補強工事 ほか 導水施設 幹線管路耐震化事業導水管布設替工事(但しシールド工) 送水施設 岩切送水ポンプ所電気設備設置外工事 ほか 配水施設 内海地区配水施設電気機械設備更新工事 ほか
佐土原町域	144	
3. 配水管等布設工事	143	鈴町宮本原線配水管布設工事 宮本4号線外3線配水管布設替工事 ほか
4. 施設整備工事	1	配水施設 今坂配水タンク所No.2ポンプ更新工事(緊急工事)
田野町域	117	
5. 配水管等布設工事	76	前平住宅1号線外1線配水管布設替工事 県道宮崎田野線外1線配水管布設替工事 ほか
6. 施設整備工事	41	浄水施設、配水施設 田野第1浄水場薬品沈殿池改良工事 田野第1配水池配水流量計更新工事 ほか
高岡町域	67	
7. 配水管等布設工事	47	市道小田元山神1号線配水管布設替工事 市道小田元山神1号線配水管布設替工事(その2) ほか
8. 施設整備工事	20	浄水施設、配水施設 浦之名浄水場膜ろ過モジュール外更新工事 板ヶ八重・南城寺地区加圧ポンプ場外3施設電源切替盤設置 ほか
清武町域	159	
9. 配水管等布設工事	136	加納台2号線外1線配水管布設替工事 県道宮崎北郷線配水管布設工事 ほか
10. 施設整備工事	23	取水施設、浄水施設、送水施設 清武第3水源地1号取水井No.2取水ポンプ更新工事 清武第3水源地PAC注入ポンプ更新工事 ほか
事務費等	461	建設改良に要する人件費、委託費など
		柏田水源地更新実施設計業務委託 佐土原町西区域上水道施設整備基本計画策定業務委託 幹線管路耐震化事業まなび野工区実施設計業務委託 ほか 人件費、事務経費、工具器具及び備品購入費等
合計	4,306	

4 企業債の推移

(単位：百万円)

	平成30年度 (決算)	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)	今後の見通し
新規発行額	1,587	1,000	1,389	1,815	1,376	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">減少する</div>
公債費	2,390	2,381	2,378	2,447	2,390	
元金償還(予定)額	1,806	1,839	1,878	1,992	1,970	
支払(予定)利息額	584	542	500	455	420	
年度末残高	37,600	36,761	36,272	36,095	35,501	
前年度比較増減	△ 219	△ 839	△ 489	△ 177	△ 594	

5 経営指標の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支比率 ※1	118.7%	119.5%	116.2%	106.4%	112.7%
料金回収率	111.3%	111.9%	109.3%	98.9%	105.5%
有形固定資産減価償却率	45.3%	46.2%	47.2%	48.7%	46.7%
経年化管路率 ※2	16.7%	18.9%	21.1%	26.7%	29.0%
管路更新率	0.8%	0.6%	0.8%	0.6%	0.6%

※1 「経営戦略」に掲げた重要業績成果指標(KPI)

※2 「みやざき水ビジョン2020」に掲げた成果指標

○ 事業報告書における「経営指標に関する事項」の掲載について

【目的等】

使用者や議会に対して、料金水準等のあり方を含め、経営の状況や見通しについて理解をいただくため、地方公営企業法施行規則の一部改正(令和4年3月29日施行)により、事業報告書様式が変更され、令和3年度の決算報告から経営の実態を端的に示す経営指標を記載することとなった。これに伴い各事業「事業報告書」の1概況において「経営指標に関する事項」を追加し、各種経営指標の推移を掲載。

【掲載指標】

総務省の各事業毎の記載例に示された損益情報(※1)及び資産情報(※2)に着目した経営指標を「5 経営指標の推移」のとおり、当該年度から過去5年まで遡り推移を掲載。

※1 経営の健全性と料金水準の妥当性を示す指標

「経常収支比率」、「料金回収率」

※2 経営の健全性と施設の更新のバランスを示す指標

「経常収支比率」、「有形固定資産減価償却率」、「経年化管路率」、「管路更新率」

令和3年度 決算事業報告書 経営指標の推移

指標値名称	単位	実績値の推移	指標の説明												
経常収支比率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>118.7</td><td>119.5</td><td>116.2</td><td>106.4</td><td>112.7</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	118.7	119.5	116.2	106.4	112.7	<p>(経常収益/経常費用) × 100</p> <p>当該年度において、料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表している。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	118.7	119.5	116.2	106.4	112.7										
		高い方が良い													
料金回収率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>111.3</td><td>111.9</td><td>109.3</td><td>98.9</td><td>105.5</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	111.3	111.9	109.3	98.9	105.5	<p>(供給単価/給水原価) × 100</p> <p>給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することができる。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	111.3	111.9	109.3	98.9	105.5										
		高い方が良い													
有形固定資産減価償却率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>45.3</td><td>46.2</td><td>47.2</td><td>48.7</td><td>46.7</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	45.3	46.2	47.2	48.7	46.7	<p>(有形固定資産減価償却累計額/有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価) × 100</p> <p>有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化割合を示している。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	45.3	46.2	47.2	48.7	46.7										
		低い方が良い													
経年化管路率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>16.7</td><td>18.9</td><td>21.1</td><td>26.7</td><td>29.0</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	16.7	18.9	21.1	26.7	29.0	<p>(法定耐用年数を経過した管路延長/管路総延長) × 100</p> <p>法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化割合を示している。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	16.7	18.9	21.1	26.7	29.0										
		低い方が良い													
管路更新率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>0.8</td><td>0.6</td><td>0.8</td><td>0.6</td><td>0.6</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	0.8	0.6	0.8	0.6	0.6	<p>(当該年度に更新した管路延長/管路総延長) × 100</p> <p>当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できる。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	0.8	0.6	0.8	0.6	0.6										
		高い方が良い													

6 「みやざき水ビジョン2020」における主要事業の実績及び成果指標の達成状況について

「みやざき水ビジョン2020」及び「経営戦略」の趣旨と計画の位置づけ等

上下水道事業の目指すべき将来像の実現に向けた実施方策と成果指標を示した「みやざき水ビジョン2020（計画期間：令和2年度～11年度）」（以下「水ビジョン」という。）を令和2年2月に策定。

投資・財政計画がメインとなる「経営戦略」を「水ビジョン」の財政マネジメントと位置づけ、事業、経営計画に基づいた効率的かつ効果的な運営を行うこととしている。これらの進捗管理として成果指標の推移等を注視しながら、令和3年度から施策評価調書を用いた内部及び外部（宮崎市上下水道事業経営審議会）による評価を行い、その結果をホームページで公開するなどして、利用者に対する事業の透明性を確保し、説明責任を果たすよう努めている。

主要事業の実績及び成果指標の達成状況

①経年管更新事業（事業費 913,928千円）

配水管布設替工事に取り組み、約11.3kmの経年管を更新した。成果指標である「経年化管路率」は、令和11年度の最終目標43.0%以下に対し、令和3年度末で29.0%となった。

②幹線管路耐震化事業（事業費 1,784,383千円）

災害時の避難所となる主要施設を中心に、市内中心部を巡る環状ルートの幹線管路の耐震化に取り組み、大字本郷北方等の配水管布設替工事を実施した。成果指標である「基幹管路の耐震化率」は、令和11年度の最終目標48.4%に対して、令和3年度末で43.1%となった。

③鉛給水管取替事業（事業費 151,311千円）

平成元年度までに布設された鉛給水管を解消するため、取替工事を約2,700件実施した。成果指標である「鉛給水管の解消率」は、令和11年度の最終目標81.0%に対して、令和3年度末で62.2%となった。

主な成果指標の進捗状況と達成度

指標値名称	①～④水ビジョン 成果指標（P57・76）	R3年度 実績	R11年度 目標値	R3年度 達成度※2
① 経年化管路率	※1	29.0%	43.0%	—
② -1 基幹管路の耐震化率		43.1%	48.4%	89.0%
② -2 口径150mm以上の管路の耐震化率		41.6%	45.9%	90.6%
③ 鉛給水管の解消率		62.2%	81.0%	76.8%
④ 水道料金収納率（令和4年5月末現在）		99.34%	99.00%	100.3%
⑤ 給水人口1人当たりの企業債残高	※1	90.8 千円	90.0 千円	99.1%

注） ※1の指標については、目標値より低い数値が望ましい。①の経年化管路率は経営指標と重複。

※2の達成度は、R11の目標値を100とした場合のもの。

⑤については、「経営戦略」の重要業績評価指標（KPI）（P21）

みやぎき水ビジョン2020及び経営戦略 主要成果指標実績 (年度別達成状況)

水道事業

■ 実績値 — 令和6年度中間目標値

みやぎき水ビジョン2020 成果指標

指標値名称	単位	目標値と実績値の推移	指標の説明										
経年化管路率 【R11目標値：43.0%】 低い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>21.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>26.7</td></tr> <tr><td>R3</td><td>29.0</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>34.2</td></tr> </table>	年度	実績値	R1	21.1	R2	26.7	R3	29.0	R6 (目標)	34.2	<p>(法定耐用年数を超過した管路延長/管路総延長) × 100</p> <p>管路とは、導水管、送水管、配水管のこと。管路の更新が追いつかない状況だが、計画的に実施することで経年化が抑えられる。</p> <p>※R2からは不明管約111kmを新たに反映させて算出している。</p>
年度	実績値												
R1	21.1												
R2	26.7												
R3	29.0												
R6 (目標)	34.2												
基幹管路の耐震化率 【R11目標値：48.4%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>41.9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>42.3</td></tr> <tr><td>R3</td><td>43.1</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>45.1</td></tr> </table>	年度	実績値	R1	41.9	R2	42.3	R3	43.1	R6 (目標)	45.1	<p>(基幹管路の耐震管延長/基幹管路総延長) × 100</p> <p>導水管・送水管及び配水本管の耐震化の状況を表している。</p>
年度	実績値												
R1	41.9												
R2	42.3												
R3	43.1												
R6 (目標)	45.1												
口径150mm以上の管路の耐震化率 (宮崎市独自指標) 【R11目標値：45.9%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>40.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>40.9</td></tr> <tr><td>R3</td><td>41.6</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>42.9</td></tr> </table>	年度	実績値	R1	40.4	R2	40.9	R3	41.6	R6 (目標)	42.9	<p>(口径150mm以上の耐震管延長/口径150mm以上の管路総延長) × 100</p> <p>平成8年度から口径150mm以上の管路について、耐震管を使用した整備を進めており、その耐震化状況を表している。</p>
年度	実績値												
R1	40.4												
R2	40.9												
R3	41.6												
R6 (目標)	42.9												
鉛給水管の解消率 (宮崎市独自指標) 【R11目標値：81.0%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>56.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>59.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>62.2</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>70.8</td></tr> </table>	年度	実績値	R1	56.1	R2	59.0	R3	62.2	R6 (目標)	70.8	<p>(解消累計箇所数/鉛給水管使用箇所数) × 100</p> <p>配水管の更新に伴った管種変更や単独の給水管取り替え事業による管種変更を行うことで、鉛給水管の取り替えを推進する。</p>
年度	実績値												
R1	56.1												
R2	59.0												
R3	62.2												
R6 (目標)	70.8												
水道料金収納率 【R11目標値：99.00%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>98.86</td></tr> <tr><td>R2</td><td>99.20</td></tr> <tr><td>R3</td><td>99.34</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>98.98</td></tr> </table>	年度	実績値	R1	98.86	R2	99.20	R3	99.34	R6 (目標)	98.98	<p>(水道料金収入額/水道料金調定額) × 100</p> <p>1年間の水道料金総調定額に対して、翌年度5月末時点において納入された収入額の割合を示しており、水道事業の経営状況の健全性を表している。</p>
年度	実績値												
R1	98.86												
R2	99.20												
R3	99.34												
R6 (目標)	98.98												

■ 実績値 — 令和11年度目標値

経営戦略 重要業績評価指標 (KPI)

指標値名称	単位	目標値と実績値の推移	指標の説明										
給水人口1人当たりの企業債残高 【R11目標値：90千円】 低い方が良い	千円	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>93.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>91.9</td></tr> <tr><td>R3</td><td>90.8</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>90</td></tr> </table>	年度	実績値	R1	93.1	R2	91.9	R3	90.8	R6 (目標)	90	<p>企業債残高合計/給水人口</p> <p>給水人口1人当たりの企業債残高を表した指標で、将来世代へ過度な負担を先送りしないためにも、減少させていく必要がある。</p>
年度	実績値												
R1	93.1												
R2	91.9												
R3	90.8												
R6 (目標)	90												

工業用水道事業

ポイント 令和3年度は、4月からの料金改定で収益が増加したことにより、単年度収支差額で5,966千円の純利益を計上した。

※事業規模が小さいことから各種金額は千円単位で表記

1 収益的収支（3条収支）

（単位：千円：税抜）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
工業用水道事業収益	15,055	19,496	4,441	29.5
工業用水道事業費用	13,034	13,530	496	3.8
収支差額	2,021	5,966	3,945	195.2

【収益】

（単位：千円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業収益	5,505	給水収益（5,505）の増
営業外収益	△ 1,064	長期前受金戻入（1,083）の減、雑収益（19）の増

【費用】

（単位：千円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業費用	499	減価償却費（422）、原水・浄水費（218）、総係費（13）の増 資産減耗費（154）の減
特別損失	△ 3	過年度損益修正損（3）の減

2 資本的収支（4条収支）

（単位：千円：税込）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
資本的収入	3,900	0	△ 3,900	△ 100.0
資本的支出	26,700	6,435	△ 20,265	△ 75.9
収支差額	△ 22,800	△ 6,435	16,365	△ 71.8

【収入】

（単位：千円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
国庫補助金	△ 3,900	経済産業省補助金の減

【支出】

（単位：千円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
建設改良費	△ 20,265	工事請負費（22,762）の減 委託料（2,497）の増

3 経営指標の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支比率	105.6%	92.8%	114.3%	115.5%	144.1%
料金回収率	106.2%	92.0%	115.9%	119.0%	148.5%
有形固定資産減価償却率	64.0%	64.2%	63.4%	56.3%	58.0%

令和3年度 決算事業報告書 経営指標の推移

指標値名称	単位	実績値の推移	指標の説明												
経常収支比率	%	<table border="1"> <caption>経常収支比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>105.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>92.8</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>114.3</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>115.5</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>144.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H29	105.6	H30	92.8	R1	114.3	R2	115.5	R3	144.1	<p>(経常収益/経常費用) × 100</p> <p>当該年度において、料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表している。</p>
年度	実績値														
H29	105.6														
H30	92.8														
R1	114.3														
R2	115.5														
R3	144.1														
高い方が良い															
料金回収率	%	<table border="1"> <caption>料金回収率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>106.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>115.9</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>119.0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>148.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H29	106.2	H30	92.0	R1	115.9	R2	119.0	R3	148.5	<p>(供給単価/給水原価) × 100</p> <p>給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することができる。</p>
年度	実績値														
H29	106.2														
H30	92.0														
R1	115.9														
R2	119.0														
R3	148.5														
高い方が良い															
有形固定資産減価償却率	%	<table border="1"> <caption>有形固定資産減価償却率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>64.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>64.2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>56.3</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H29	64.0	H30	64.2	R1	63.4	R2	56.3	R3	58.0	<p>(有形固定資産減価償却累計額/有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価) × 100</p> <p>有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。</p>
年度	実績値														
H29	64.0														
H30	64.2														
R1	63.4														
R2	56.3														
R3	58.0														
低い方が良い															

公共下水道事業

ポイント 令和3年度は、一般会計繰入金等の収益の減少や令和2年度からの事故繰越（96百万円）の影響により、単年度収支差額で105百万円の純損失を計上した。

1 収益的収支（3条収支）

（単位：百万円：税抜）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
下水道事業収益	10,237	9,986	△ 251	△ 2.5
下水道事業費用	10,123	10,091	△ 32	△ 0.3
収支差額	114	△ 105	△ 219	—

【収益】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業収益	103	下水道使用料（19）、他会計負担金（81）、その他営業収益（3）の増
営業外収益等	△ 354	雑収益（3）の増 他会計負担金・補助金（325）、国庫補助金（7）、 長期前受金戻入（18）の減、特別利益（7）の減

（参考）下水道使用料及び有収水量の推移

（単位：百万円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
下水道使用料	4,902	4,883	4,898	4,947	4,966
前年度増減額	77	△ 19	15	49	19
有収水量（千m ³ ）	36,434	36,345	36,508	37,371	37,327
前年度増減量（千m ³ ）	529	△ 89	163	863	△ 44

【費用】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業費用	86	管渠費（28）、処理場費（106）、総係費（8）の増 業務費（4）、減価償却費（8）、資産減耗費（44）の減
営業外費用等	△ 118	雑支出（7）、特別損失（1）の増 支払利息（126）の減

2 資本的収支（4条収支）

（単位：百万円：税込）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
資本的収入	6,064	5,819	△ 245	△ 4.0
資本的支出	10,144	9,800	△ 344	△ 3.4
収支差額	△ 4,080	△ 3,981	99	△ 2.4

【収入】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
企業債	△ 320	建設改良企業債（266）、資本費平準化債（40）、 特別措置分（14）の減
他会計出資金	227	他会計出資金の増
国庫・県補助金	△ 111	国庫補助金の減
負担金及び分担金	△ 46	受益者負担金（34）、工事負担金（12）の減
固定資産売却代金	5	固定資産売却代金の増

【支出】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
建設改良費	△ 412	事務費（4）、下水道整備費（397）、固定資産購入費（11）の減
企業債償還金	68	企業債償還金の増

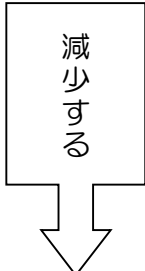
3 建設改良事業の概要

(単位：百万円：税込)

事業名	事業費	主な事業
旧宮崎市域 (面積整備率： 98.5%)	2,627	
1. 汚水管渠等整備工事	1,342	老朽管渠改築工事、下水道管路施設耐震化工事 ほか
2. 処理場等施設整備工事	1,097	宮崎・大淀・木花・青島 各処理場改築工事 中継ポンプ場改築工事 ほか
3. 雨水管渠整備工事	188	飛江田雨水排水路整備工事 東大淀雨水排水路整備工事 ほか
佐土原町域 (面積整備率： 96.5%)	35	
4. 汚水管渠等整備工事	3	佐土原地区下水道管布設工事
5. 処理場等施設整備工事	3	佐土原浄化センター電気設備更新工事 ほか
6. 雨水管渠整備工事	29	上田島地区雨水排水路整備工事
田野町域 (面積整備率： 87.5%)	45	
7. 汚水管渠等整備工事	32	田野地区下水道管布設工事 ほか
8. 処理場等施設整備工事	13	田野浄化センター地震対策工事
高岡町域 (面積整備率： 92.7%)	1	
9. 処理場等施設整備工事	1	中継ポンプ場改築工事
清武町域 (面積整備率： 89.2%)	215	
10. 汚水管渠等整備工事	215	清武・木原・加納地区下水道管布設工事 ほか
事務費等	1,058	建設改良に要する人件費、委託費など
		(宮) 合流地区管渠改築実施設計業務委託 ほか (佐) 上田島地区雨水排水施設基本設計業務委託 ほか (田) 合又地区浸水対策実施設計業務委託 ほか (高) 川原地区浸水対策事業に伴う用地補償 ほか (清) 加納地区下水道工事に伴う移設補償 ほか 人件費、事務経費、工具器具及び備品購入費等
合計	3,981	

4 企業債の推移

(単位：百万円)

	平成30年度 (決算)	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)※1	今後の見通し
新規発行額	3,621	3,626	3,463	3,143	5,876	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 減少する  </div>
公債費	7,558	7,178	6,866	6,808	6,794	
元金償還(予定)額	6,189	5,938	5,751	5,818	5,908	
支払(予定)利息額	1,369	1,240	1,115	990	886	
農集からの移管分	0	0	0	0	※2 12	
年度末残高	80,500	78,188	75,900	73,225	73,205	
前年度比較増減	△ 2,568	△ 2,312	△ 2,288	△ 2,675	△ 20	

※1 令和4年度(予算)の数値については、令和4年度当初予算と令和3年度繰越分との合計額となっている。

※2 令和4年度の農集からの移管分は、田野町域の仮屋原地区分。

5 経営指標の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支比率 ※1	100.1%	100.7%	101.4%	101.1%	99.0%
経費回収率	89.7%	89.5%	89.1%	87.5%	88.0%
有形固定資産減価償却率	31.3%	33.1%	35.0%	36.8%	38.6%
管渠老朽化率	3.1%	3.1%	3.1%	3.0%	4.2%

※1 「経営戦略」に掲げた重要業績成果指標(KPI)

令和3年度決算事業報告書 経営指標の推移

指標値名称	単位	実績値の推移	指標の説明												
経常収支比率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>100.1</td><td>100.7</td><td>101.4</td><td>101.1</td><td>99.0</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	100.1	100.7	101.4	101.1	99.0	<p>(経常収益/経常費用) × 100</p> <p>当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表している。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	100.1	100.7	101.4	101.1	99.0										
		高い方が良い													
経費回収率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>89.7</td><td>89.5</td><td>89.1</td><td>87.5</td><td>88.0</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	89.7	89.5	89.1	87.5	88.0	<p>(下水道使用料/汚水処理費用(公費負担分を除く)) × 100</p> <p>使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標であり、使用料水準等の評価が可能となる。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	89.7	89.5	89.1	87.5	88.0										
		高い方が良い													
有形固定資産減価償却率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>31.3</td><td>33.1</td><td>35.0</td><td>36.8</td><td>38.6</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	31.3	33.1	35.0	36.8	38.6	<p>(有形固定資産減価償却累計額/有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価) × 100</p> <p>有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	31.3	33.1	35.0	36.8	38.6										
		低い方が良い													
管渠老朽化率	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr> <tr><th>値</th><td>3.1</td><td>3.1</td><td>3.1</td><td>3.0</td><td>4.2</td></tr> </table>	年度	H29	H30	R1	R2	R3	値	3.1	3.1	3.1	3.0	4.2	<p>(法定耐用年数を経過した管渠延長/下水道布設延長) × 100</p> <p>法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合を示している。</p>
年度	H29	H30	R1	R2	R3										
値	3.1	3.1	3.1	3.0	4.2										
		低い方が良い													

6 「みやざき水ビジョン2020」における主要事業の実績及び成果指標の達成状況について

主要事業の実績及び成果指標の達成状況

①管きょ改築事業（事業費 1,180,949千円）

主に整備年度の古い旧宮崎市域において、老朽管の長寿命化を図るため国庫補助事業を活用し、管きょ改築事業に取り組んだ。成果指標である「重要路線内の要改善老朽下水道管きょ改善率」は、令和11年度の最終目標100.0%に対し、令和3年度末で53.8%となった。

②処理場等施設整備事業（事業費 1,517,879千円）

汚水処理機能向上のため、国庫補助事業を活用し設備の設置や改築に取り組んだ。

③浸水対策事業（事業費 530,137千円）

浸水被害が発生している地域において被害軽減を図るため、国庫補助事業を活用し雨水幹線等の整備に取り組んだ。成果指標である「都市浸水対策達成率」は、令和11年度の最終目標60.0%に対し、本年度末で58.3%となった。

主な成果指標の進捗状況と達成度

指標値名称	①～④水ビジョン 成果指標（P63・76）	R3年度	R11年度	R3年度
		実績	目標値	達成度※2
① 重要路線内の要改善老朽下水道管きょ改善率		53.8%	100.0%	53.8%
② 耐震化率（処理場・ポンプ場）【重要施設の耐震化率】		38.6%	94.7%	40.8%
③ 都市浸水対策達成率		58.3%	60.0%	97.2%
④ 下水道使用料収納率（令和4年5月末現在）		99.39%	99.00%	100.4%
⑤ 処理区域内人口1人当たりの企業債残高	※1	200.2千円	175.0千円	87.4%

注) ※1の指標については、目標値より低い数値が望ましい。

※2の達成度は、R11の目標値を100とした場合のもの。

⑤については、「経営戦略」の重要業績評価指標（KPI）（P60）

みやぎき水ビジョン2020及び経営戦略 主要成果指標実績 (年度別達成状況)

公共下水道事業

■ 実績値 — 令和6年度中間目標値

みやぎき水ビジョン2020 成果指標

指標値名称	単位	目標値と実績値の推移	指標の説明														
重要路線内の要改善老朽下水道管きよ改善率 【R11目標値：100%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>41.2</td></tr> <tr><td>R2</td><td>47.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>53.8</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> </table>	年度	実績値	R1	41.2	R2	47.1	R3	53.8	R4		R5		R6		<p>(管きよ改善実施延長/長寿命化計画に基づく管きよ改善必要延長) × 100</p> <p>長寿命化計画に基づく点検・調査により改善が必要と判断した管きよの改善状況を表している。</p>
年度	実績値																
R1	41.2																
R2	47.1																
R3	53.8																
R4																	
R5																	
R6																	
耐震化率 (処理場・ポンプ場) 【R11目標値：94.7%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>35.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>35.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>38.6</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> </table>	年度	実績値	R1	35.1	R2	35.1	R3	38.6	R4		R5		R6		<p>(耐震対策実施済箇所/耐震対策必要箇所) × 100</p> <p>主要な下水道処理施設のうち耐震対策が必要な57箇所の対策実施状況を表している。</p>
年度	実績値																
R1	35.1																
R2	35.1																
R3	38.6																
R4																	
R5																	
R6																	
都市浸水対策達成率 【R11目標値：60.0%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>56.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>57.9</td></tr> <tr><td>R3</td><td>58.3</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> </table>	年度	実績値	R1	56.7	R2	57.9	R3	58.3	R4		R5		R6		<p>(浸水対策完了済面積/浸水対策を実施すべき面積) × 100</p> <p>浸水対策を実施すべき地区の面積のうち、対策が完了している地区の面積の割合を示している。</p>
年度	実績値																
R1	56.7																
R2	57.9																
R3	58.3																
R4																	
R5																	
R6																	
下水道使用料収納率 【R11目標値：99.00%】 高い方が良い	%	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>98.75</td></tr> <tr><td>R2</td><td>99.24</td></tr> <tr><td>R3</td><td>99.39</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> </table>	年度	実績値	R1	98.75	R2	99.24	R3	99.39	R4		R5		R6		<p>(下水道使用料収入額/下水道使用料調定額) × 100</p> <p>1年間の下水道使用料総調定額に対して、翌年度5月末時点において納入された収入額の割合を示しており、下水道事業の経営状況の健全性を表している。</p>
年度	実績値																
R1	98.75																
R2	99.24																
R3	99.39																
R4																	
R5																	
R6																	

■ 実績値 — 令和11年度目標値

経営戦略 重要業績評価指標 (KPI)

処理区域内人口1人当たりの企業債残高 【R11目標値：175千円】 低い方が良い	千円	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>R1</td><td>213.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>207.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>200.2</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> </table>	年度	実績値	R1	213.5	R2	207.1	R3	200.2	R4		R5		R6		<p>企業債残高合計/処理区域内人口</p> <p>処理区域内人口1人当たりの企業債残高を表した指標で、将来世代へ過度な負担を先送りしないためにも、減少させていく必要がある。</p>
年度	実績値																
R1	213.5																
R2	207.1																
R3	200.2																
R4																	
R5																	
R6																	

農業集落排水事業

ポイント

令和3年度は、一般会計繰入金等の収益が減少したものの、施設の維持管理費や支払利息も減少したため、単年度収支差額で26百万円の純利益を計上した。

1 収益的収支（3条収支）

（単位：百万円：税抜）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
農業集落排水事業収益	645	607	△ 38	△ 5.9
農業集落排水事業費用	622	581	△ 41	△ 6.6
収支差額	23	26	3	13.0

【収益】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業収益	△ 2	農業集落排水施設使用料の減
営業外収益 等	△ 36	その他特別利益（7）の増 他会計負担金・補助金（39）、長期前受金戻入（4）の減

【費用】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
営業費用	△ 30	管渠費（16）、処理場費（7）、減価償却費（7）の減
営業外費用 等	△ 11	支払利息（9）、雑支出（2）の減

2 資本的収支（4条収支）

（単位：百万円：税込）

	令和2年度決算	令和3年度決算	差 額	増減比(%)
資本的収入	206	215	9	4.4
資本的支出	413	431	18	4.4
収支差額	△ 207	△ 216	△ 9	4.3

【収入】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
企業債	△ 1	建設改良企業債の減
他会計出資金	1	他会計出資金の増
国庫補助金	8	国庫補助金の増
負担金及び分担金	1	受益者分担金の増

【支出】

（単位：百万円）

科目等	増減額	主な増減の理由等
建設改良費	16	農業集落排水整備費の増
企業債償還金	2	企業債償還金の増

3 企業債の推移

(単位：百万円)

	平成30年度 (決算)	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)	今後の見通し
新規発行額	16	20	11	10	34	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 減少する </div>
公債費	488	486	478	470	455	
元金償還(予定)額	391	398	399	400	394	
支払(予定)利息額	97	88	79	70	61	
公共下水道への移管分	0	0	0	0	※1 △12	
年度末残高	4,495	4,117	3,729	3,339	2,967	
前年度比較増減	△375	△378	△388	△390	△372	

※1 令和4年度の公共下水道への移管分は、田野町域の仮屋原地区分。

4 経営指標の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支比率	※1 105.9%	103.4%	103.7%	103.6%	103.1%
経費回収率	74.8%	73.7%	71.4%	62.3%	69.6%
有形固定資産減価償却率	33.1%	35.3%	37.5%	39.6%	41.7%

※1 「経営戦略」に掲げた重要業績成果指標(KPI)

令和3年度 決算事業報告書 経営指標の推移

指標値名称	単位	実績値の推移	指標の説明
経常収支比率	%		$(\text{経常収益} / \text{経常費用}) \times 100$ 当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表している。
経費回収率	%		$(\text{農集使用料} / \text{汚水処理費用(公費負担分を除く)}) \times 100$ 使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標であり、使用料水準等の評価が可能となる。
有形固定資産減価償却率	%		$(\text{有形固定資産減価償却累計額} / \text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}) \times 100$ 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。